

めがねのまちさばえのハピネスSDGs



鯖江市について



面積：84.59km²（県内で2番目に狭い）

人口：69,400人（県内で唯一増加）

※R2国勢調査調べ

- ・眼鏡、繊維、越前漆器の三大地場産業に特化したものづくり産業
- ・鯖江モデル（市民主役、学生連携、IT、SDGs）で注目されている

鯖江市で発生しているイノベーション

産業イノベーション

世界に通用する技術力とブランド力

メガネ

×

繊維

×

漆器

RENEW



鯖江市・越前市・越前町の広域で一斉開催される体験型マーケット。普段出入りできないものづくりの工房を開放し、実際のものづくりの現場を見学・体験できる。これまでのBtoBからBtoCへの転換と産業観光の促進につながっている。

世界レベルの技術



眼鏡産業においては、長年培われたチタンの微細技術を活かした医療機器の開発。越前漆器においては、最先端技術を用いた漆の造形物の製作や海外で受け入れられる新たなデザイン研究が進められている。

地域イノベーション

高いシビックプライド

市民
主役

×

まち
づくり

×

若者

鯖江市役所JK課



仮想的に行政組織の課名を模した女子高校生によるまちづくりグループ。行政から最も遠い存在と思われながらも、独自の「ゆるさ」を持ち味に活動を展開。市民主役やジェンダー平等を掲げる鯖江市の象徴的存在。メンバーは市内在住・通学者で、延べ100人を超えている。

Hana道場



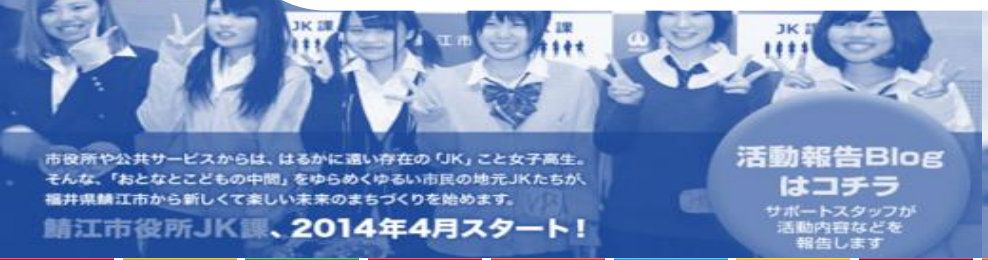
ものづくりと最先端のITを掛け合わせて新しい“何か”をつくる場。25社以上のグローバル企業や地元企業と協働しており、多業種が関わり新たな事業を生み出す「オープンイノベーション」を目指している。プログラミング教室も開講し、子どもからシニア世代まで通っている。

つまり鯖江市は・・・



全国規模の**面白いイノベーション**が
企業や市民と協働で**次々展開**されることで
地域ブランドが向上し続けるまち！

日本初！
自治体に



また前回初めて従来の大学と観覧者の投票で、生のはか、地元の高校生も募集した。コンテストでは6人が応募され、うち3人がの発行、鯖江愛は、高校生にとっていい経験になるはず。ぜひ参加して新しい視点を身につけてほしい」と話している。

高校生は鯖江市や近隣在住を対象に6月30日まで募集している。エントリーは23人の5人1組で定員は12人、コンテストのホーミングから申し込む市民ら。応募多数の場合は抽選方式で、結果は7月上旬に郵送で通知する。大学生の募集は6月20日8月3日に行う。問い合わせは市商工政策課。0778532230。

今後さらに地域ブランドが向上していきます！



(SDGs)

SDGsフェスinめがねのまちさばえ (福井県鯖江市)



(市民主役)

市民主役EXPO (福井県鯖江市)



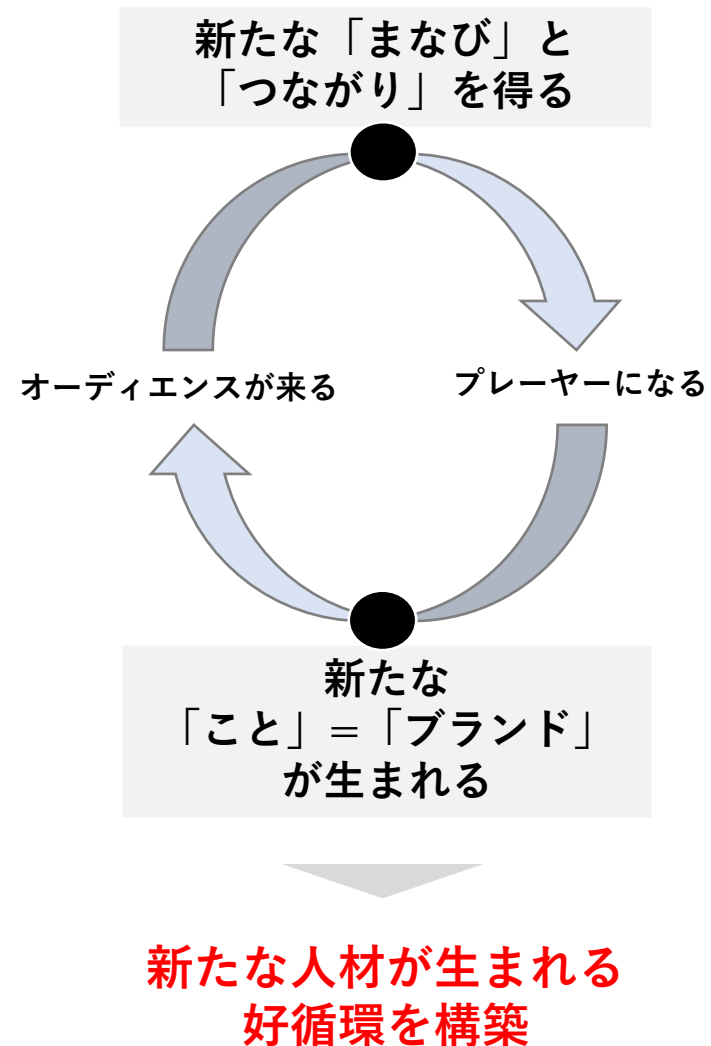
(新しい“こと”づくり)

例：地域イノベーション拠点



(右腕人材づくり)

例：産業向けデザインスクール



鯖江市とSDGsの関係 ～歴史から学ぶ～

ポイント

女性が活躍する土壌形成



鯖江の地場産業は、
古くから下請け分業体制による家族経営が多い

眼鏡



繊維



漆器



女性就業率

全国 2 位

共働き率

全国 1 位

三世帯同居率

全国 2 位

×

×

※R2国勢調査調べ



女性が地場産業を支えてきた

鯖江市とSDGsの関係 ～女性活躍の取組み～

SDGs全17目標を達成するカギは “女性活躍”

①女性活躍の世界発信事業



- ・国連ハイレベル政治フォーラムでの発信
- ・国際的な女性会議への参加

②女性活躍に向けた意識啓発



- ・女性活躍総合イベント
- ・全国高校生まちづくりサミット
- ・女性“活躍満足度”調査
(インポスター症候群の研究)

③女性活躍活動拠点の整備



- ・多様な世代の思いを交換する場
- ・様々なステークホルダーの活動や情報交換の場
- ・国連の女性機関の誘致による国連女性活躍資料館の機能も目指す

女性のエンパワメントを引き出し、地域をエンパワメントする

自治体SDGsモデル事業に選定

SDGs年表

2017年5月

持続可能な地域モデル
めがねのまちさばえ研究
チームを発足



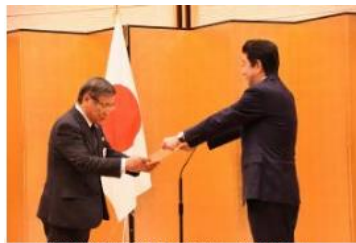
2018年5月

ニューヨーク国連本部
SDGs推進会議で鯖江市
長がスピーチ



2019年7月

自治体SDGsモデル事業
に選定



安倍総理から選定証をいただきました。

2019年12月

国連の女性問題の第一人
者であるアンワルルK.
チャウドリー大使が来鯖



鯖江市役所に来庁

SDGsさばえ宣言



2020年4月

女性活躍活動拠点 開設



2020年9月

さばえSDGs推進センター
開設



2020年10月

国連の友のボランティアス
タッフとして活動していた
川口サマンサが地域おこし
協力隊に就任



2022年8月

さばえSDGsグローバル
クラブの会員数100到達



2022年10月

めがねまちさばえSDGs
フェスを北陸で初開催





今後さらにSDGsを推進していきます！

SDGs先進地の鯖江市が次に目指すのは・・・

『幸福寿命』の延伸による『幸福社会』の実現

鯖江市による定義：

幸福な社会を実現するためには、健康・経済・希望の3つの側面を活性・推進して、すべての市民が「自己肯定感・多様な価値観・地域への愛着」を形成することで、「いきがい・やりがい・暮らしがい」のあるまちを目指す。

SDGsはすべての人の生活の質を上げることが最終目的であり、新たな鯖江モデルを提言し日本全国へ発信する。



今後さらにSDGsを推進していきます！

STEP 1 【認知】

「幸福社会のまちさばえ」の
認知拡大

STEP 2 【行動変容】

「幸福社会のまちさばえ」の
認知から行動変容へ

STEP 3 【習慣】

全世代が主体となり習慣化される
「幸福社会のまちさばえ」へ

取組①



SDGsフェス等のイベントで、あらゆる世代が「笑顔」になって参加できる感動体験を展開。

SDGsテーマの体験・販売・啓発による**企業の魅力発信**

全世代参加型のエンターテインメント要素を取り入れて
集客効果と鯖江モデルを**日本全国へ発信**

取組②



若者にSDGsや地方創生への興味関心を促し、学びから行動変容を実現。

SDGsや地方創生を切り口に活躍の場を創出して**若者のふるさと愛を醸成**

魅力的な地方創生事例として全国に横展開できる鯖江モデルを**日本全国へ発信**

最後に・・・

本市の地方創生の取組は、
企業版ふるさと納税制度をはじめとした、
企業様との協働がなければ実現できません。

<企業様と協働したいこと>

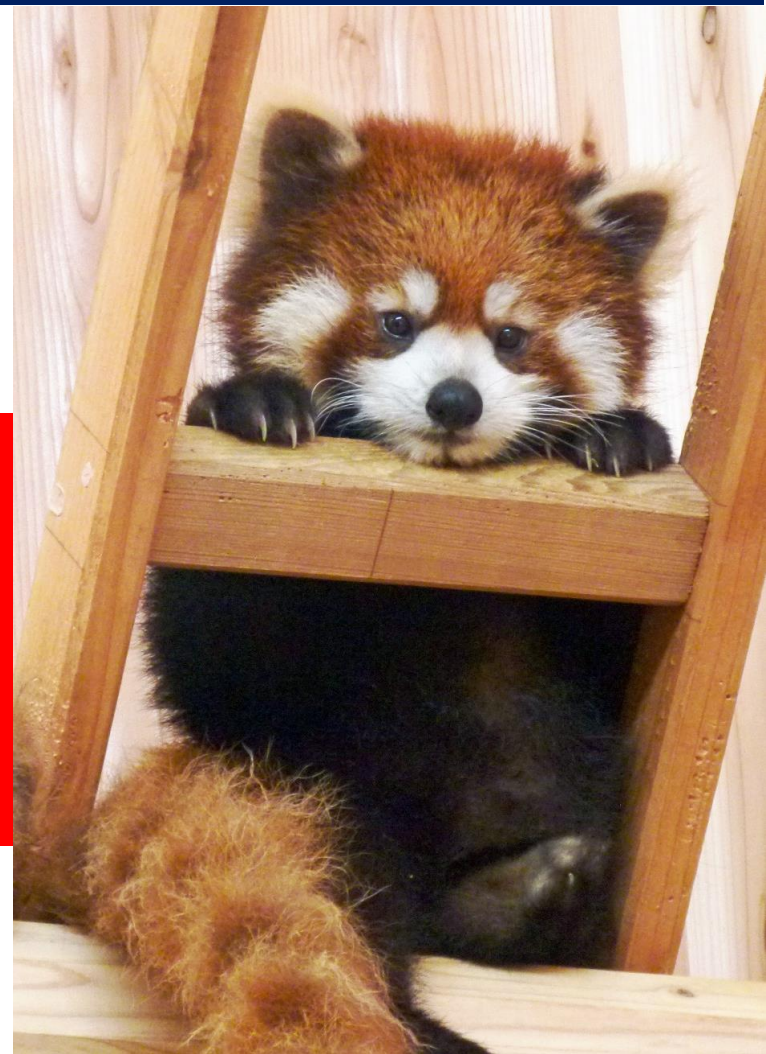
- ・ 鯖江市で新しいイノベーションを起こす
 - デザインスクールや地域イノベーション拠点との連携
- ・ 規模拡大するSDGsフェスへの出店

<企業様のメリット>

- ・ 新たな連携によるイノベーションが起きる可能性
- ・ SDGsの取組みを通じた全国への情報発信

めがねのまちさばえ  と、

新たなイノベーションを起こしましょう！



(日本一小さな動物園「西山動物園」)
レッサーパンダの繁殖数が多いことで有名